

## ふくしまグリーン復興推進プロモーション事業デジタルスタンプラリー業務 委託仕様書（案）

本仕様書は、福島県が行う「ふくしまグリーン復興推進プロモーション事業デジタルスタンプラリー業務」を委託するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

### 1 業務名

ふくしまグリーン復興推進プロモーション事業デジタルスタンプラリー業務

### 2 業務の目的

福島県では、震災により減少した自然公園利用者数の回復を目指す「ふくしまグリーン復興構想」（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/fgr/about/>）の一環として、国立・国定公園を中心に福島県内を広く周遊する仕組みづくりに取り組んでおり、美しいビュースポットを「Fukushima, Perfect View 絶景巡礼・ふくしまビューポイント50」（以下「ビューポイント」という。）に選定し、プロモーションに取り組んできた。

今後は継続的な魅力発信のみならず、人々が実際に現地へ足を運びたいとなる仕掛けづくりにより、自然公園を起点とした更なる誘客に取り組む必要がある

本業務では、ビューポイントを周遊するスタンプラリーを開催することにより、県内自然公園及びその周辺地域の魅力発信と、現地への誘客による自然公園利用者数の回復や交流人口の拡大を図ることを目的とする。

### 3 履行期限

契約締結日から令和6年2月29日（木）

### 4 履行の場所

「Fukushima, Perfect View 絶景巡礼・ふくしまビューポイント50」選定地（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/fgr/perfectview/>）及び周辺地域

### 5 業務概要

- （1）「Fukushima, Perfect View 絶景巡礼・ふくしまビューポイント50」を周遊するデジタルスタンプラリーの実施
- （2）（1）の開催及び「Fukushima, Perfect View 絶景巡礼・ふくしまビューポイント50」等のふくしまグリーン復興構想に係る取組の情報発信

## 6 業務内容

以下に係わる一切の業務（企画、調査、調整、作成（印刷）、発送を含む）を実施すること。

### （1）デジタルスタンプラリーの企画

ア 二次元コードを活用したモバイルスタンプラリーを実施すること。

イ 実施期間は令和5年夏季から4ヶ月程度とし、具体的な時期については県と協議の上決定するものとする。

ウ スタンプラリーは各選定地に設置されている既存ビューポイント標識に二次元コードを貼付し、これを読み取ることにより達成とする仕様を基本としてスタンプラリーのシステムを構築するものとする。

なお、より効率的なシステムの構築や運用を行うことができる場合は、二次元コード読み取り方式を用いない実施方法を提案することも可とする。

エ スタンプラリーのマーカ（以下「スポット」という。）設置数は4～48カ所（電波不通等の現地事情により二次元コード付き標識を設置していないビューポイント「達沢不動滝」と「東山大滝」を除いた数）以内とし、1つの自然公園や地域に集中しないようにすることや、利用者が興味を持つテーマで設置カ所を繋ぐ等により、広域での周遊促進に資するよう工夫して提案すること。

（参考）ビューポイントが含まれる自然公園

- ・磐梯朝日国立公園
- ・日光国立公園
- ・尾瀬国立公園
- ・越後三山只見国定公園

エ その他、スタンプラリーへの興味関心を高める仕掛けがあれば提案することも可とする。ただし、景品（物品）の贈呈や金銭（電子含む）の贈与などは不可とする。

オ その他、デジタルスタンプラリーに関連し県内自然公園への誘客に効果的な仕掛けがあれば提案することも可とする。

### （2）デジタルスタンプラリーの運営

ア 実施期間中の事務局運営（システム運用や問合せ対応）を行うこと。

イ スタンプラリーのログは記録するとともに、参加者数、達成状況等について把握し、県の求めに応じ適宜報告や集計結果報告を行うこと。

ウ 各スポットに誘導するためのサインとしてのぼりを製作すること。

また、のぼりはスポットもしくはスポットへの誘導に資する隣接地等に設置することとし、スタンプラリー終了後、速やかに回収すること。

なお、設置に当たり必要となる調整（法令手続を含む）は受託者において行うこと。

### （３）デジタルスタンプラリー及びふくしまグリーン復興構想に係る取組の情報発信

ア 既存の「ふくしまグリーン復興構想」専用 Web サイト（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/fgr/>）にデジタルスタンプラリーに係るページを作成すること（最新情報への掲載を含む）。

イ デジタルスタンプラリーの開催について、ポスター及びチラシを製作し、周遊エリアの拠点となる施設などへ配布すること。また、Web 等により広告を実施すること。広報については、効率的かつ効果的な PR 手法により実施すること。

ウ スタンプラリー開催中、必要に応じて Web ページの改修を行うこと。

エ Web ページのデザインは既存サイトに準じるものとする。なお、デジタルスタンプラリー及びふくしまグリーン復興構想を効果的に発信するために必要な改修があれば提案に含めること。

オ 広報ツール及び Web サイト内には交付金事業である旨以下の標示をすること。

「令和５年度福島特定原子力施設地域復興交付金事業」

カ その他、関係市町村や観光関係団体などと連携した情報発信を行うなど、ビューポイントが将来的に地元のプロモーションでも活用されていくために効果的な施策があれば提案することも可とする。

## ７ 成果品

履行期限までに以下の成果物を提出すること。

- （１）実績報告書（紙媒体３部）
- （２）本委託業務に係る全ての成果物の電子データ（電子記録媒体１部）

## ８ 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- （１）契約締結後に速やかに提出するもの
  - ア 着手届（様式第１号）
  - イ 統括責任者通知書（任意様式）

- ウ 業務計画書及び実施工程表（任意様式）
  - エ 収支計画書（任意様式）
  - オ その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類
- （２）業務完了後、履行期限までに速やかに提出するもの
- ア 完了届（様式第２号）
  - イ 収支報告書（任意様式）
  - ウ その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

## ９ 統括責任者

受託者は、本業務に当たって十分な経験を有する者を統括責任者として定めなければならない。

## 10 事業実施にあたっての打合せ

受託者は、本業務の期間において、福島県との間で随時打合せを行った上で業務を実施するものとし、その打合せ記録を作成するものとする（様式任意）。

また、福島県は本業務の実施のために必要な協力をする。

## 11 その他留意事項

### （１）成果品の著作権等の取り扱い

ア 本業務における成果物の所有権や著作権は、原則としてすべて福島県に帰属し、委託者は事前の連絡なく加工及び２次利用できるものとする。ただし、受託者が従来から権利を有していた受託者固有の知識、技術に関する権利等（以下「権利留保物」という。）については、受託者に留保するものとし、この場合、福島県は権利留保物についての当該権利を非独占的に使用できることとする。

イ 本業務の実施による成果品は、著作権・肖像権上の処理を済ませた上で納入すること。

### （２）個人情報の取り扱い

本業務で個人情報及び特定個人情報を扱う場合は、流失・損失が生じないよう、その保護について十分な注意を払うこと。

### （３）秘密の保持

本業務で取得した情報については、秘密を保持するとともに、契約目的以外には絶対に利用しないこと。

### （４）その他

ア 業務の実施に当たっては、業務の内容及び範囲について、福島県と綿密な打ち合わせを行い、その決定に従うこと。

イ 受託者は、受託業務に関する事項について、福島県から報告を求められた場合には速やかに対応すること。また、改善が必要な事項については、直ちにこれに対応し、その結果を報告すること。

ウ 本仕様書に明示無き事項又は業務に疑義が生じた場合は、福島県及び受託者双方の協議により業務を進めるものとする。

エ 但し、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。